

バングラデシュ経済ニュース (2016年2月)

(為替レート 1タカ=1.547円)

<p>マクロ経済 産業動向</p>	<p>(1) <b>【1日 Daily Star 紙】</b> 1月31日、1か月間に渡って開催された「ダッカ国際貿易展」は盛況の内に閉幕した。同貿易展では553ブースが地元企業に、56ブースが外国企業に割り当てられた。また期間中に前年比147%増の総額23億5,000万タカ(3,015万ドル)の輸出契約が纏まった。</p> <p>(2) <b>【5日 Daily Star 紙】</b> 現在バングラデシュでは8,920万台のスマートフォンが流通しているが、この内30%は非合法に輸入されたものである。この為、携帯電話輸入業者は、正規品にシールを添付するなど、非合法に密輸されるスマートフォンへの対抗処置を検討している。尚、昨年は2,590万台のスマートフォンが輸入され、前年比15%の増加を見せていた。</p> <p>(3) <b>【17日 Daily Star 紙】</b> バングラデシュ政府は、ICT分野におけるベンチャー企業支援に乗り出す。2015年10月に提出された400の企画書から10社を選定し、Software Technology Parkへの無料入居および1社当たり50万タカの補助金を提供する。この10社は2016年7月に発表される予定。</p> <p>(4) <b>【21日 Financial Express 紙】</b> 縫製産業の後方連関効果で、縫製品の副資材産業が急速な成長を遂げている。過去5年間で毎年100社を超える企業が新設され、現在ではその企業数は1,400社以上に達している。昨年度、副資材の輸出額は56億ドルに達し、前年度の47.5億ドルから大幅に伸びた。また同産業では現在までに3,000億タカの投資が行われ、30万人の労働者を雇用していると言われている。</p> <p>(5) <b>【28日 Financial Express 紙】</b> はちみつの生産量が増加している。カラシ油、マンゴーやライチ畑などを中心に近年はちみつ栽培が広がり、昨年は3,000トンの生産を記録した。またこの内、550トン(=5億5,000万タカ相当)はインドやアラブ首長国連邦などへ輸出された。</p>
<p>財政 税制</p>	<p>(1) <b>【12日 Daily Star 紙】</b> 今年度当初7か月間(2015年7月～2016年1月)における開発予算の執行率は、6年ぶりに低い水準に留まった。開発予算の同期間における執行額は2,754.2億タカであったが、これは全予算(9,700億タカ)の28.39%のみであった。Kamal計画大臣は「この2年間、開発予算の執行促進に向け様々な手をうってきたが、状況はなかなか改善しない」と述べた。</p> <p>(2) <b>【19日 Daily Star 紙】</b> 今年度上半期(2015年7月～2015年12月)における携帯電話の通話料金に関する補足税の徴税額は、20億9,000万タカであった。同補</p>

	<p>足税は今年度から新しく導入され、携帯電話料金には 15%の付加価値税の他に、3%の補足税が課せられることとなった。</p>
金融・物価・為替	<p>(1) 【10日 Daily Star 紙】 2016年1月の物価上昇率は、前月比0.03%減の6.07%となった。食品部門の物価上昇率は同1.15%減の4.33%で38か月ぶりの低水準に留まった一方、非食品部門は反対に同1.69%増の8.74%に達した。Zahid 世銀 Bangladesh 事務所チーフエコノミストは、「順調な農業生産及び国際穀物市場での価格低迷が食品部門の物価上昇率を抑えた一方、電気及びガス料金の高騰が非食料品物価を押し上げた」との見方を示した。</p> <p>(2) 【16日 Daily Star 紙】 2015年12月末時点の銀行セクターにおける不良債権額は、9月末時点から6.22%減少して5,130億タカとなった。また融資残高に占める不良債権額の割合も9.89%から8.79%に減少した。民間商業銀行の関係者は、「これは中央銀行の指導により特に大型不良債権の整理を進めた結果である」と述べた。</p> <p>(3) 【29日 Daily Star 紙】 今年度第一四半期(2015年7月～9月)における銀行セクターの融資残高は、大企業向けが減少した一方、中小企業向けが増加した。即ち、大企業向けは前年同期比8%減の949億タカに留まったのに対し、中規模企業向け融資は前年同期比14.59%増(211億タカ)を記録した。この結果、同期間における融資貸出額の総額は前年同期比0.86%増の1,270億タカとなった。</p>
貿易	<p>(1) 【7日 Daily Star 紙】 インド政府は、Bangladesh から輸入された麻製品に関するアンチ・ダンピング調査に乗り出した。これはインド麻製造協会が政府に要請したことに端を発しており、Bangladesh とインドの麻製品貿易の40年間の歴史で初めてのことである。もし調査でダンピングが認められれば、最大20%の追加関税が課される恐れがある。Bangladesh の麻輸出(7億ドル)の内およそ20%がインド向けであり、Bangladesh 製品はインド市場のおよそ8～10%を占めている。</p> <p>(2) 【9日 Daily Star 紙】 2016年1月の輸出総額は、前年同月比10.38%増の31.9億ドルに達した。これは、縫製品輸出額が前年同月比3.95%増の26.3億ドルに伸びたことが主な要因。縫製業界の関係者は「工場における安全性向上が進んで結果、欧米バイヤーがより高い値で買ってくれるようになった」と述べた。</p> <p>(3) 【17日 Financial Express 紙】 Bangladesh における穀物種子、肥料、殺虫剤及び農業機器の輸入</p>

	<p>依存度は、南アジアの中で最も高い。このことは、インドの国際リサーチ会社(Consumer Unity &amp; Trust Society)が発表した「Agricultural Input Trade and Food Society of South Asia」と題された報告書の中で明らかにされた。バングラデシュは2010年から2014年の間に68.05億ドルの農業関連品を輸入しており、これは南アジア地域における農業機械の輸入総額の12.44%を占めている。</p> <p>(4) 【21日 Daily Star 紙】 2015年のスマートフォン輸入量は、廉価機の普及により前年比39%増の562.7万台に達した。これは同年の携帯電話輸入量の21%を占める。バングラデシュ携帯電話輸入協会(Bangladesh Mobile Phone Importers Association)は、2016年に900万台のスマートフォン輸入量を見込んでいる。</p>
<p>雇用問題 海外出稼ぎ 社会保障</p>	<p>(1) 【4日 Daily Star 紙】 1月の海外送金受取額は、前年同月比7.25%減の11.5億ドルに留まった。中央銀行関係者は「海外出稼ぎ労働者が数多く働いている中東諸国は、原油価格の低迷に苦しんでおり、多くのインフラプロジェクトが停滞している。この為、出稼ぎ労働者の収入も減少した」との見方を示した。</p> <p>(2) 【16日 Daily Star 紙】 15日、バングラデシュ政府は輸出加工区内での労働組合の設置を認める「Bangladesh EPZ Labour Law 2016」の素案を閣議決定した。同法案の制定には今後、国会で可決される必要がある。尚、バングラデシュの8つの輸出加工区では453社に44万人以上の労働者が勤務している。(同法案の策定は一般特恵関税の復活の為にアメリカがバングラデシュに求めている16項目の中の一つである)</p> <p>(3) 【20日 Daily Star 紙】 19日、マレーシア政府は突如、バングラデシュ人を含む全ての海外出稼ぎ労働者の受け入れを一時停止することを発表した。更にマレーシア政府は、非合法の出稼ぎ労働者は逮捕し本国に強制送還する方針も明らかにした。一方、バングラデシュ政府とマレーシア政府は、18日に今後3年間で150万人の海外出稼ぎ労働者を派遣する新たな協定に署名したばかりであった。この為、今般のマレーシア政府の決定はバングラデシュでは驚きをもって迎えられている。更に現在マレーシアで働いているバングラデシュ人労働者60万人の内、20万人が非合法労働者であると言われており、今般のマレーシア政府の決定がこれらの労働者に与える影響も懸念されている。</p>
<p>対日関係 日本企業</p>	<p>(1) 【22日 Daily Sun 紙】 現地マイクロファイナンス機関のUDDIPANは、今般、死亡した会員の家族に対する保険金授与式を執り行った。UDDIPANは富国生命保険相</p>

	<p>互会社と共に、20105年9月からコミラ郡でマイクロ保険のテスト販売プロジェクトを実施しており、同授与式には日本の代表者も出席した。</p> <p>(2) 【24日 Daily Sun 紙】</p> <p>23日、JETRO ダッカ事務所は「アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」の結果を発表。バングラデシュでは日系企業149社が回答を寄せ、この内、62.2%の企業が来年、事業を拡大するつもりであることが明らかになった。</p>
<p>社会</p>	<p>(1) 【8日 Daily Star 紙】</p> <p>バングラデシュ北西地域のラルモニルハット郡では、タバコ栽培により生計を支えている世帯が多い。しかしタバコ畑ではニコチンが健康に影響を与える他、子供が働いていることが多いことから、子供への健康被害が特に懸念されている。防護服などを活用すれば健康被害へのリスクを軽減することは可能であるが、多くのタバコ農家はこのような知識に乏しい。</p> <p>(2) 【26日 Daily Star 紙】</p> <p>25日、バングラデシュ教育情報統計局は、「Bangladesh Education Statistics 2015」を発表。この中で、中等教育（5年生～10年生）に在籍する児童の内、40.29%（男子 33.722%及び女子 45.92%）が中途退学（ドロップアウト）をしている状況が明らかになった。尚、この退学率は、2008年は61%であったことから、退学率自体は減少傾向にある。</p>

(了)